

電力需要調書記載様式

電力広域の運営推進機関

記載にあたっての注意事項

- ・ 各様式に行や列の追加は行わず、巻末の様式ごとの記載内容に沿って記載すること。
- ・ 数式が入っている箇所は原則インプット不可とするが、端数処理等の関係で合計が一致しない場合などは手入力とすること。
- ・ 数値は全て半角とし、小数点以下は各項目ごとの定義にしたがい保持すること。なお、端数処理は原則四捨五入とする。
端数処理の関係で合計が一致しない場合がある。
- ・ 様式に補足が必要な場合あるいは、記載が難しい場合には、様式にその旨明記した上で任意様式にて提出すること。
その際の任意様式にも必ず社名及び供給区域を記載すること。
- ・ N年度は想定対象の第1年度を表す。
- ・ 「過去に調書で提出した内容と同一の項目について修正がない場合、及び補正を行っていない等該当する値が無い場合、該当する項目にハイフンを記載すること。
- ・ 閏日のある年度における電力量の想定については、2月を29日として記載すること。
- ・ 各様式に事業者名、報告対象の供給区域及び年度を記載すること。

電力需要調書記載様式

様式No	様式名	提出期限	備考
S-1	供給区域需要想定(年度)	1月20日	
S-2	供給区域需要想定(第1、2年度)	1月20日	
S-3	供給区域需要想定(想定手法)	1月20日	
J-1-1	供給区域需要実績(4～9月)	11月末	
J-1-2	供給区域需要実績(10～3月及び年間合計)	6月末	
J-2-1-1	供給区域需要実績(気温変動量)(4～9月)	11月末	
J-2-1-2	供給区域需要実績(気温変動量用途別)(4～9月)	11月末	
J-2-2-1	供給区域需要実績(気温変動量)(10～3月)	6月末	
J-2-2-2	供給区域需要実績(気温変動量用途別)(10～3月)	6月末	
J-3-1	最大需要電力実績(4～9月)	10月末	
J-3-2	最大需要電力実績(10～3月)	5月末	
J-4	最大需要電力(夏季・冬季・ベース)	6月末	
K-1	最大需要電力乖離検証(夏季)	10月末	
K-2	最大需要電力乖離検証(冬季)	5月末	
K-3	使用端電力量乖離検証	7月末	

供給区域 _____

_____ 年度

	推定実績 (補正なし)	推定実績 (気象間補正後)	推定実績 (気象補正 後)	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	想定	平均増減率 (%)(参考)
年度	N-1	N-1	N-1	N	N+1	N+2	N+3	N+4	N+5	N+6	N+7	N+8	N+9	N-1年度対比 (気象間補正後)
最大需要電力(送電端)夏季 MW														
最大需要電力(送電端)冬季 MW														
年負荷率 夏季 %														
年負荷率 冬季 %														
需要電力量合計(送電端) GWh														
送配電損失率 %														
需要電力量合計(需要端) GWh														
変電所所内用電力量 GWh														
需要電力量合計(使用端) GWh														
	家庭用その他 GWh													
	業務用 GWh													
	産業用その他 GWh													
原単位(家庭用その他) kWh/口														
口数(家庭用その他) 千口														
	人口/口数 人/口													
夏季需要 MW														
ベース需要 MW														
冬季需要 MW														
ベース需要 MW														
備考														

供給区域 _____

_____ 年度

(第1年度)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端) MW												
	需要電力量合計(送電端) GWh												
	需要電力量合計(使用端) GWh												
	家庭用その他 GWh												
	業務用 GWh												
	産業用その他 GWh												

(第2年度)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
想定値	最大需要電力(送電端) MW												

供給区域

年度			想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	相関式	相関式係数定義	備考
短期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率			～					
		夏季需要			～					
		ベース需要			～					
		その他			～					
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率			～					
		冬季需要			～					
		ベース需要			～					
		その他			～					
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他			～					
		家庭用その他(口数)			～					
		家庭用その他(一口当たり人口)			～					
		家庭用その他(原単位)			～					
		業務用			～					
		産業用その他			～					

			想定方法	想定に使用した実績	観測期間	決定係数	経済指標	相関式	相関式係数定義	備考
長期	最大需要電力 (送電端)夏季	負荷率			～					
		夏季需要			～					
		ベース需要			～					
		その他			～					
	最大需要電力 (送電端)冬季	負荷率			～					
		冬季需要			～					
		ベース需要			～					
		その他			～					
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他			～					
		家庭用その他(口数)			～					
		家庭用その他(一口当たり人口)			～					
		家庭用その他(原単位)			～					
		業務用			～					
		産業用その他			～					

			想定方法	備考
中間期	最大需要電力(送電端)夏季			
	最大需要電力(送電端)冬季			
	負荷率			
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他		
		家庭用その他(口数)		
		家庭用その他(一口当たり人口)		
		家庭用その他(原単位)		
		業務用		
		産業用その他		
第1年度 各月	最大需要電力(送電端)			
	需要電力量 (使用端)	家庭用その他		
		業務用		
		産業用その他		
第2年度 各月	最大需要電力(送電端)			

J-1-1 供給区域需要実績(4～9月)

(事業者名) _____

供給区域 _____

年度 _____

			4月	5月	6月	7月	8月	9月
気象補正後	最大需要電力(送電端)	MW						
	負荷率	%						
	需要電力量合計(送電端)	GWh						
	送配電損失率	%						
	需要電力量合計(需要端)	GWh						
	変電所所内用電力量	GWh						
	需要電力量合計(使用端)	GWh						
	家庭用その他	GWh						
	業務用	GWh						
	産業用その他	GWh						
原単位(家庭用その他)			kWh/口					
補正なし	最大需要電力(送電端)	MW						
	負荷率	%						
	需要電力量合計(送電端)	GWh						
	送配電損失率	%						
	需要電力量合計(需要端)	GWh						
	変電所所内用電力量	GWh						
	需要電力量合計(使用端)	GWh						
	家庭用その他	GWh						
	業務用	GWh						
	産業用その他	GWh						
原単位(家庭用その他)			kWh/口					
その他	口数(家庭用その他)	千口						
備考								

J-1-2 供給区域需要実績(10～3月及び年間合計)

(事業者名)

供給区域

年度

			10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	気象閏補正後(年間)
気象補正後	最大需要電力(送電端)	MW								
	負荷率	%								
	需要電力量合計(送電端)	GWh								
	送配電損失率	%								
	需要電力量合計(需要端)	GWh								
	変電所所内用電力量	GWh								
	需要電力量合計(使用端)	GWh								
	家庭用その他	GWh								
	業務用	GWh								
	産業用その他	GWh								
	原単位(家庭用その他)	kWh/口								
補正なし	最大需要電力(送電端)	MW								
	負荷率	%								
	需要電力量合計(送電端)	GWh								
	送配電損失率	%								
	需要電力量合計(需要端)	GWh								
	変電所所内用電力量	GWh								
	需要電力量合計(使用端)	GWh								
	家庭用その他	GWh								
	業務用	GWh								
	産業用その他	GWh								
	原単位(家庭用その他)	kWh/口								
その他	口数(家庭用その他)	千口								
備考										

J-2-1-1 供給区域需要実績(気温変動量)(4～9月)

(事業者名) _____

供給区域 _____

年度	4月				5月				6月				7月				8月				9月			
	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均
平均気温(実績) °C																								
平均気温(平年) °C																								
平均気温差 °C																								
実績平均気温累計 °C																								
平年平均気温累計 °C																								
対象累計温度差 °C																								
気温補正要否判定																								
送電端電力量気温感応度百万kWh/°C																								
気温変動量(送電端合計 GWh)																								
送電端電力量気温感応度算出式																								
平均気温算出方法(算出地点の取り方等)の考え方																								
備考																								

注) 気温以外を採用の場合は、備考欄にその旨を記載のこと。

J-2-1-2 供給区域需要実績(気温変動量用途別)(4～9月)

(事業者名) _____

供給区域 _____

_____ 年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	4～9月合計	備考
気温変動量(送電端合計)	GWh								
送配電損失率	%								
気温変動量(使用端 暦月合計)	GWh								
家庭用その他	GWh								
業務用	GWh								
産業用その他	GWh								
気温変動量 暦月調定月変換量	GWh								
気温変動量 月暦月調定月変換率	%								
気温変動量(使用端 調定月合計)	GWh								
家庭用その他	GWh								
業務用	GWh								
産業用その他	GWh								

J-2-2-1 供給区域需要実績(気温変動量)(10～3月)

(事業者名) _____

供給区域 _____

年度	10月				11月				12月				1月				2月				3月			
	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均
平均気温(実績) ℃																								
平均気温(平年) ℃																								
平均気温差 ℃																								
実績平均気温累計 ℃																								
平年平均気温累計 ℃																								
対象累計温度差 ℃																								
気温補正要否判定																								
送電端電力量気温感応度百万kWh/℃																								
気温変動量(送電端合計 GWh)																								
送電端電力量気温感応度算出式																								
平均気温算出方法(算出地点の取り方等)の考え方																								
備考																								

注) 気温以外を採用の場合は、備考欄にその旨を記載のこと。

J-2-2-2 供給区域需要実績(気温変動量用途別)(10～3月)

(事業者名) _____

供給区域 _____

_____ 年度		10月	11月	12月	1月	2月	3月	10～3月合計	備考
気温変動量(送電端合計)	GWh								
送配電損失率	%								
気温変動量(使用端 暦月合計)	GWh								
家庭用その他	GWh								
業務用	GWh								
産業用その他	GWh								
気温変動量 暦月調定月変換量	GWh								
気温変動量 暦月調定月変換率	%								
気温変動量(使用端 調定月合計)	GWh								
家庭用その他	GWh								
業務用	GWh								
産業用その他	GWh								

J-3-1

最大需要電力実績(4～9月)

(事業者名) _____

供給区域 _____

_____ 年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月
各日最大需要電力の各月上位1位	日						
	時間						
	最大需要電力(MW)						
各日最大需要電力の各月上位2位	日						
	時間						
	最大需要電力(MW)						
各日最大需要電力の各月上位3位	日						
	時間						
	最大需要電力(MW)						
気象補正	補正指標						
	指標実績						
	基準指標						
	実績と基準の差						
	気象感応度						
	感応度算出方法						
	基準指標算出の考え方						
備考							

J-3-2

最大需要電力実績(10～3月)

(事業者名) _____

供給区域 _____

_____ 年度		10月	11月	12月	1月	2月	3月
各日最大需要電力の各月上位1位	日						
	時間						
	最大需要電力(MW)						
各日最大需要電力の各月上位2位	日						
	時間						
	最大需要電力(MW)						
各日最大需要電力の各月上位3位	日						
	時間						
	最大需要電力(MW)						
気象補正	補正指標						
	指標実績						
	基準指標						
	実績と基準の差						
	気象感応度						
	感応度算出方法						
	基準指標算出の考え方						
備考							

供給区域

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
夏季・冬季需要 MW												
夏季・冬季需要(気象補正後) MW												
ベース需要 MW												
ベース需要の算出方法												
備考												

供給区域

年度

検証対象月	月	
想定値	MW	
実績値	MW	
実績と想定との差	MW	

差異要因	影響量	影響量算出方法
気象影響	MW	
備考		

K-2 最大需要電力乖離検証(冬季)

(事業者名) _____

供給区域 _____

_____ 年度

検証対象月	月	
想定値	MW	
実績値	MW	
実績と想定との差	MW	

差異要因	影響量	影響量算出方法
気象影響	MW	
備考		

供給区域 _____

_____年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
想定値(エリア計)													
家庭用その他													
業務用													
産業用その他													
実績値(エリア計)													
家庭用その他													
業務用													
産業用その他													
実績と想定との差(エリア計)													
家庭用その他													
業務用													
産業用その他													

差異要因ごとの影響量(月毎に分析している場合)

影響量算出方法

気象補正量(エリア計)														
家庭用その他														
業務用														
産業用その他														
〇〇要因(エリア計)														
家庭用その他														
業務用														
産業用その他														
〇〇要因(エリア計)														
家庭用その他														
業務用														
産業用その他														
〇〇要因(エリア計)														
家庭用その他														
業務用														
産業用その他														

差異要因ごとの影響量(期間をまとめて分析している場合)

期間を明記

〇〇要因(エリア計)		
家庭用その他		
業務用		
産業用その他		

備考	
----	--

記載内容

様式No	S-1
様式名	供給区域需要想定(年度)

--

項目No	項目名			単位	小数点以下	内容	データ期間
S-1-1	推定実績	補正なし	最大需要電力(送電端)夏季	MW	0	最大需要電力(送電端)夏季の推定実績(補正なし)	N-1年度
S-1-2	推定実績	補正なし	最大需要電力(送電端)冬季	MW	0	最大需要電力(送電端)冬季の推定実績(補正なし)	N-1年度
S-1-3	推定実績	補正なし	年負荷率 夏季	%	1	需要電力量合計(送電端)合計推定実績の補正なし/最大需要電力(送電端)夏季推定実績の補正なし/8760で算出する。なお、閏年に該当する年度は算出の際に閏を考慮すること。	N-1年度
S-1-4	推定実績	補正なし	年負荷率 冬季	%	1	需要電力量合計(送電端)合計推定実績の補正なし/最大需要電力(送電端)冬季推定実績の補正なし/8760で算出する。なお、閏年に該当する年度は算出の際に閏を考慮すること。	N-1年度
S-1-5	推定実績	補正なし	需要電力量合計(送電端)	GWh	0	需要電力量合計(送電端)推定実績の補正なし	N-1年度
S-1-6	推定実績	補正なし	送配電損失率	%	1	(需要電力量合計(送電端)の補正なし-需要電力量合計(需要端)の補正なし)/需要電力量合計(送電端)の補正なし	N-1年度
S-1-7	推定実績	補正なし	需要電力量合計(需要端)	GWh	0	需要電力量合計(需要端)推定実績の補正なし	N-1年度
S-1-8	推定実績	補正なし	変電所所内用電力量	GWh	0	変電所所内用電力量の推定実績	N-1年度
S-1-9	推定実績	補正なし	需要電力量合計(使用端)	GWh	0	需要電力量家庭用その他、業務用、産業用その他推定実績(補正なし)の合計	N-1年度
S-1-10	推定実績	補正なし	需要電力量家庭用その他	GWh	0	需要電力量家庭用その他の推定実績(補正なし)	N-1年度
S-1-11	推定実績	補正なし	需要電力量業務用	GWh	0	需要電力量業務用の推定実績(補正なし)	N-1年度
S-1-12	推定実績	補正なし	需要電力量産業用その他	GWh	0	需要電力量産業用その他の推定実績(補正なし)	N-1年度
S-1-13	推定実績	補正なし	原単位(家庭用その他)	kWh/口	0	需要電力量家庭用その他の推定実績(補正なし)/口数(年間延契約口数/12)	N-1年度
S-1-14	推定実績	補正なし	口数(家庭用その他)	千口	0	口数(年間延契約口数/12)の推定実績	N-1年度
S-1-15	推定実績	補正なし	人口/口数	人/口	2	人口(見通し)/口数の推定実績	N-1年度
S-1-16	推定実績	補正なし	夏季需要	MW	0	最大需要電力(夏季)の内の夏季需要	N-1年度
S-1-17	推定実績	補正なし	ベース需要/夏季	MW	0	最大需要電力(夏季)の内のベース需要	N-1年度

記載内容

様式No	S-1
様式名	供給区域需要想定(年度)

--

項目No	項目名			単位	小数点以下	内容	データ期間
S-1-18	推定実績	補正なし	冬季需要	%	1	最大需要電力(冬季)の内の冬季需要	N-1年度
S-1-19	推定実績	補正なし	ベース需要/冬季	%	1	最大需要電力(冬季)の内のベース需要	N-1年度
S-1-20	推定実績	気象閏補正後	需要電力量合計(送電端)	GWh	0	需要電力量合計(送電端)推定実績の気象閏補正後	N-1年度
S-1-21	推定実績	気象閏補正後	送配電損失率	%	1	(需要電力量合計(送電端)の気象閏補正後-需要電力量合計(需要端)の気象閏補正後)/需要電力量合計(送電端)の気象閏補正後	N-1年度
S-1-22	推定実績	気象閏補正後	需要電力量合計(需要端)	GWh	0	需要電力量合計(需要端)推定実績の気象閏補正後	N-1年度
S-1-23	推定実績	気象閏補正後	変電所所内用電力量	GWh	0	変電所所内用電力量の推定実績	N-1年度
S-1-24	推定実績	気象閏補正後	需要電力量合計(使用端)	GWh	0	需要電力量家庭用その他、業務用、産業用その他推定実績(気象閏補正後)の合計	N-1年度
S-1-25	推定実績	気象閏補正後	需要電力量家庭用その他	GWh	0	需要電力量家庭用その他の推定実績(気象閏補正後)	N-1年度
S-1-26	推定実績	気象閏補正後	需要電力量業務用	GWh	0	需要電力量業務用の推定実績(気象閏補正後)	N-1年度
S-1-27	推定実績	気象閏補正後	需要電力量産業用その他	GWh	0	需要電力量産業用その他の推定実績(気象閏補正後)	N-1年度
S-1-28	推定実績	気象閏補正後	原単位(家庭用その他)	kWh/口	0	需要電力量家庭用その他の推定実績(気象閏補正後)/口数(年間延契約口数/12)	N-1年度
S-1-29	推定実績	気象補正後	最大需要電力(送電端)夏季	MW	0	最大需要電力(送電端)夏季の推定実績(気象補正後)	N-1年度
S-1-30	推定実績	気象補正後	最大需要電力(送電端)冬季	MW	0	最大需要電力(送電端)冬季の推定実績(気象補正後)	N-1年度
S-1-31	推定実績	気象補正後	年負荷率 夏季	%	1	需要電力量合計(送電端)合計推定実績の補正なし/最大需要電力(送電端)夏季推定実績の補正なし/8760で算出する。なお、閏年に該当する年度は算出の際に閏を考慮すること。	N-1年度
S-1-32	推定実績	気象補正後	年負荷率 冬季	%	1	需要電力量合計(送電端)合計推定実績の補正なし/最大需要電力(送電端)冬季推定実績の補正なし/8760で算出する。なお、閏年に該当する年度は算出の際に閏を考慮すること。	N-1年度
S-1-33	推定実績	気象補正後	需要電力量合計(送電端)	GWh	0	需要電力量合計(送電端)推定実績の気象補正後	N-1年度
S-1-34	推定実績	気象補正後	送配電損失率	%	1	(需要電力量合計(需要端)の気象補正後-需要電力量合計(送電端)の気象補正後)/需要電力量合計(送電端)の気象補正後	N-1年度

記載内容

様式No	S-1
様式名	供給区域需要想定(年度)

--

項目No	項目名			単位	小数点以下	内容	データ期間
S-1-35	推定実績	気象補正後	需要電力量合計(需要端)	GWh	0	需要電力量合計(需要端)推定実績の気象補正後	N-1年度
S-1-36	推定実績	気象補正後	変電所所内用電力量	GWh	0	変電所所内用電力量の推定実績	N-1年度
S-1-37	推定実績	気象補正後	需要電力量合計(使用端)	GWh	0	需要電力量家庭用その他、業務用、産業用その他推定実績(気象補正後)の合計	N-1年度
S-1-38	推定実績	気象補正後	需要電力量家庭用その他	GWh	0	需要電力量家庭用その他の推定実績(気象補正後)	N-1年度
S-1-39	推定実績	気象補正後	需要電力量業務用	GWh	0	需要電力量業務用の推定実績(気象補正後)	N-1年度
S-1-40	推定実績	気象補正後	需要電力量産業用その他	GWh	0	需要電力量産業用その他の推定実績(気象補正後)	N-1年度
S-1-41	推定実績	気象補正後	原単位(家庭用その他)	kWh/口	0	需要電力量家庭用その他の推定実績(気象補正後)/口数(年間延契約口数/12)	N-1年度
S-1-42	推定実績	気象補正後	夏季需要	MW	0	最大需要電力(夏季)の内の夏季需要(気象補正後)	N-1年度
S-1-43	推定実績	気象補正後	ベース需要/夏季	MW	0	最大需要電力(夏季)の内のベース需要(気象補正後)	N-1年度
S-1-44	推定実績	気象補正後	冬季需要	MW	0	最大需要電力(冬季)の内の冬季需要(気象補正後)	N-1年度
S-1-45	推定実績	気象補正後	ベース需要/冬季	MW	0	最大需要電力(冬季)の内のベース需要(気象補正後)	N-1年度
S-1-46	想定		最大需要電力(送電端)夏季	MW	0	最大需要電力(送電端)夏季(供給区域指定月時の内夏季)の想定(気象補正後)	N~N+9年度
S-1-47	想定		最大需要電力(送電端)冬季	MW	0	最大需要電力(送電端)冬季(供給区域指定月時の内冬季)の想定(気象補正後)	N~N+9年度
S-1-48	想定		年負荷率 夏季	%	1	需要電力量合計(送電端)合計想定/最大需要電力(送電端)夏季想定/8760で算出するか、年負荷率を想定している場合には想定した値	N~N+9年度
S-1-49	想定		年負荷率 冬季	%	1	需要電力量合計(送電端)合計想定/最大需要電力(送電端)冬季想定/8760で算出するか、年負荷率を想定している場合には想定した値	N~N+9年度
S-1-50	想定		需要電力量合計(送電端)	GWh	0	需要電力量合計(送電端)想定	N~N+9年度
S-1-51	想定		送配電損失率	%	1	(需要電力量合計(送電端)の想定-需要電力量合計(需要端)の想定)/需要電力量合計(送電端)の想定	N~N+9年度

記載内容

様式No	S-1
様式名	供給区域需要想定(年度)

--

項目No	項目名			単位	小数点以下	内容	データ期間
S-1-52	想定		需要電力量合計(需要端)	GWh	0	需要電力量合計(需要端)想定	N～N+9年度
S-1-53	想定		変電所所内用電力量	GWh	0	変電所所内用電力量の想定	N～N+9年度
S-1-54	想定		需要電力量合計(使用端)	GWh	0	需要電力量家庭用その他、業務用、産業用その他想定の合計	N～N+9年度
S-1-55	想定		需要電力量家庭用その他	GWh	0	需要電力量家庭用その他の想定	N～N+9年度
S-1-56	想定		需要電力量業務用	GWh	0	需要電力量業務用の想定	N～N+9年度
S-1-57	想定		需要電力量産業用その他	GWh	0	需要電力量産業用その他の想定	N～N+9年度
S-1-58	想定		原単位(家庭用その他)	kWh/口	0	需要電力量家庭用その他の想定/口数(年間延契約口数/12)	N～N+9年度
S-1-59	想定		夏季需要	MW	0	最大需要電力(夏季)の内の夏季需要。ただし、夏季需要を用い想定を行っていない場合には、ハイフンを記載	N～N+9年度
S-1-60	想定		ベース需要/夏季	MW	0	最大需要電力(夏季)の内のベース需要。ただし、ベース需要を用い想定を行っていない場合には、ハイフンを記載	N～N+9年度
S-1-61	想定		冬季需要	MW	0	最大需要電力(冬季)の内の冬季需要。ただし、冬季需要を用い想定を行っていない場合には、ハイフンを記載	N～N+9年度
S-1-62	想定		ベース需要/冬季	MW	0	最大需要電力(冬季)の内のベース需要。ただし、ベース需要を用い想定を行っていない場合には、ハイフンを記載	N～N+9年度
S-1-63	想定		口数(家庭用その他)	千口	0	口数(年間延契約口数/12)の想定	N～N+9年度
S-1-64	想定		人口/口数	人/口	2	人口(見通し)/口数の想定	N～N+9年度
S-1-65							

記載内容

様式No	S-2
様式名	供給区域需要想定(第1、2年度)

項目No	項目名			単位	小数点以下	内容	データ期間
S-2-1	想定値		最大需要電力(送電端)	MW	0	最大需要電力(送電端)各月の想定値	N年度各月
S-2-2	想定値		需要電力量合計(送電端)	GWh	0	需要電力量合計(送電端)の想定値	N年度各月
S-2-3	想定値		需要電力量合計(使用端)	GWh	0	需要電力量家庭用その他、業務用、産業用その他(想定値)の合計	N年度各月
S-2-4	想定値		需要電力量家庭用その他	GWh	0	需要電力量家庭用その他の(想定値)	N年度各月
S-2-5	想定値		需要電力量業務用	GWh	0	需要電力量業務用の(想定値)	N年度各月
S-2-6	想定値		需要電力量産業用その他	GWh	0	需要電力量産業用その他の(想定値)	N年度各月
S-2-7	想定値		最大需要電力(送電端)	MW	0	最大需要電力(送電端)各月の想定値	N+1年度 各月
S-2-8							
S-2-9							
S-2-10							
S-2-11							
S-2-12							

記載内容

様式No	S-3	想定手法について様式に記載が難しい場合には、該当する想定対象の備考欄にその旨記載した上で、個別に任意様式で報告すること。 また、特に、異常値の控除、想定手法を従来から変更した場合は、その旨を備考欄等に記載すること。
様式名	供給区域需要想定(想定手法)	

項目No	項目名			単位	小数点以下	内容	データ期間
S-3-1	想定	最大需要電力 (夏季)	想定方法	-	-	年間電力量から負荷率等を用いた想定方法や、時系列傾向、経済指標との相関、個別需要家の積み上げ等需要想定の方法 負荷率、夏季・ベース、その他など想定方法によって記載欄を選択。	短期、長期
S-3-2	想定	最大需要電力 (夏季)	想定に使用した実績	-	-	想定に際し利用した実績の種類を選択(気象補正後、気象閏補正後、閏補正後、補正なし、その他)。 過去に本機関へ提出した実績以外を用いた場合には「その他」を選択し採用した理由と共に個別に任意様式で実績を報告すること。 負荷率、夏季・ベース、その他など想定方法によって記載欄を選択。	短期、長期
S-3-3	想定	最大需要電力 (夏季)	実績観測期間(From)	年	0	想定に利用した実績の観測期間From 負荷率、夏季・ベース、その他など想定方法によって記載欄を選択。	短期、長期
S-3-4	想定	最大需要電力 (夏季)	実績観測期間(To)	年	0	想定に利用した実績の観測期間To 負荷率、夏季・ベース、その他など想定方法によって記載欄を選択。	短期、長期
S-3-5	想定	最大需要電力 (夏季)	決定係数		3	想定 の決定係数 負荷率、夏季・ベース、その他など想定方法によって記載欄を選択。	短期、長期
S-3-6	想定	最大需要電力 (夏季)	経済指標	-	-	T10-1で経済指標を選択した場合に利用した経済指標(GDP、IIP、人口など) 負荷率、夏季・ベース、その他など想定方法によって記載欄を選択。	短期、長期
S-3-7	想定	最大需要電力 (夏季)	相関式			想定の際の具体的な相関式 負荷率、夏季・ベース、その他など想定方法によって記載欄を選択。	短期、長期
S-3-8	想定	最大需要電力 (夏季)	相関式の係数定義			相関式の係数などの定義 負荷率、夏季・ベース、その他など想定方法によって記載欄を選択。	短期、長期
S-3-9	想定	最大需要電力 (夏季)	備考			想定についての補足など 負荷率、夏季・ベース、その他など想定方法によって記載欄を選択。	短期、長期
S-3-10	想定	最大需要電力 (冬季)	想定方法	-	-	年間電力量から負荷率等を用いた想定方法や、時系列傾向、経済指標との相関、個別需要家の積み上げ等需要想定の方法 最大需要電力(送電端)冬季(供給区域指定月時の内冬季)がある場合のみ。該当がなければハイフン。	短期、長期
S-3-11	想定	最大需要電力 (冬季)	想定に使用した実績	-	-	想定に際し利用した実績の種類を選択(気象補正後、気象閏補正後、閏補正後、補正なし、その他)。 過去に本機関へ提出した実績以外を用いた場合には「その他」を選択し採用した理由と共に個別に任意様式で実績を報告すること。 負荷率、夏季・ベース、その他など想定方法によって記載欄を選択。	短期、長期
S-3-12	想定	最大需要電力 (冬季)	実績観測期間(From)	年	0	想定に利用した実績の観測期間From 負荷率、冬季・ベース、その他など想定方法によって記載欄を選択。 最大需要電力(送電端)冬季(供給区域指定月時の内冬季)がある場合のみ。該当がなければハイフン。	短期、長期
S-3-13	想定	最大需要電力 (冬季)	実績観測期間(To)	年	0	想定に利用した実績の観測期間To 負荷率、冬季・ベース、その他など想定方法によって記載欄を選択。 最大需要電力(送電端)冬季(供給区域指定月時の内冬季)がある場合のみ。該当がなければハイフン。	短期、長期
S-3-14	想定	最大需要電力 (冬季)	決定係数		3	想定 の決定係数 負荷率、冬季・ベース、その他など想定方法によって記載欄を選択。 最大需要電力(送電端)冬季(供給区域指定月時の内冬季)がある場合のみ。該当がなければハイフン。	短期、長期
S-3-15	想定	最大需要電力 (冬季)	経済指標	-	-	T10-1で経済指標を選択した場合に利用した経済指標(GDP、IIP、人口など) 負荷率、冬季・ベース、その他など想定方法によって記載欄を選択。 最大需要電力(送電端)冬季(供給区域指定月時の内冬季)がある場合のみ。該当がなければハイフン。	短期、長期

記載内容

様式No	S-3	想定手法について様式に記載が難しい場合には、該当する想定対象の備考欄にその旨記載した上で、個別に任意様式で報告すること。 また、特に、異常値の控除、想定手法を従来から変更した場合は、その旨を備考欄等に記載すること。
様式名	供給区域需要想定(想定手法)	

項目No	項目名			単位	小数点以下	内容	データ期間
S-3-16	想定	最大需要電力 (冬季)	相関式			想定の際の具体的な相関式 負荷率、冬季・ベース、その他など想定方法によって記載欄を選択。 最大需要電力(送電端)冬季(供給区域指定月時の内冬季)がある場合のみ。該当がなければハイフン。	短期、長期
S-3-17	想定	最大需要電力 (冬季)	相関式の係数定義			相関式の係数などの定義 負荷率、冬季・ベース、その他など想定方法によって記載欄を選択。 最大需要電力(送電端)冬季(供給区域指定月時の内冬季)がある場合のみ。該当がなければハイフン。	短期、長期
S-3-18	想定	最大需要電力 (冬季)	備考			想定についての補足など 負荷率、冬季・ベース、その他など想定方法によって記載欄を選択。	短期、長期
S-3-19	想定	家庭用その他	想定方法	-		- 年間電力量から負荷率等を用いた想定方法や、時系列傾向、経済指標との相関、個別需要家の積み上げ等需要想定の方法	短期、長期
S-3-20	想定	家庭用その他	想定に使用した実績	-		- 想定に際し利用した実績の種類を選択(気象補正後、気象閏補正後、閏補正後、補正なし、その他)。 過去に本機関へ提出した実績以外を用いた場合には「その他」を選択し採用した理由と共に個別に任意様式で実績を報告すること。	短期、長期
S-3-21	想定	家庭用その他	実績観測期間(From)	年	0	想定に利用した実績の観測期間From	短期、長期
S-3-22	想定	家庭用その他	実績観測期間(To)	年	0	想定に利用した実績の観測期間To	短期、長期
S-3-23	想定	家庭用その他	決定係数		3	想定の実績係数	短期、長期
S-3-24	想定	家庭用その他	経済指標	-		- T10-1で経済指標を選択した場合に利用した経済指標(GDP、IIP、人口など)	短期、長期
S-3-25	想定	家庭用その他	相関式			想定の際の具体的な相関式	短期、長期
S-3-26	想定	家庭用その他	相関式の係数定義			相関式の係数などの定義	短期、長期
S-3-27	想定	家庭用その他	備考			想定についての補足など	短期、長期
S-3-28	想定	家庭用その他 (口数)	想定方法	-		- 年間電力量から負荷率等を用いた想定方法や、時系列傾向、経済指標との相関、個別需要家の積み上げ等需要想定の方法	短期、長期
S-3-29	想定	家庭用その他 (口数)	想定に使用した実績	-		- 想定に際し利用した実績の種類を選択(気象補正後、気象閏補正後、閏補正後、補正なし、その他)。 過去に本機関へ提出した実績以外を用いた場合には「その他」を選択し採用した理由と共に個別に任意様式で実績を報告すること。	短期、長期
S-3-30	想定	家庭用その他 (口数)	実績観測期間(From)	年	0	想定に利用した実績の観測期間From	短期、長期

記載内容

様式No	S-3	想定手法について様式に記載が難しい場合には、該当する想定対象の備考欄にその旨記載した上で、個別に任意様式で報告すること。 また、特に、異常値の控除、想定手法を従来から変更した場合は、その旨を備考欄等に記載すること。
様式名	供給区域需要想定(想定手法)	

項目No	項目名			単位	小数点以下	内容	データ期間
S-3-31	想定	家庭用その他 (口数)	実績観測期間(To)	年	0	想定に利用した実績の観測期間To	短期、長期
S-3-32	想定	家庭用その他 (口数)	決定係数		3	想定の実績係数	短期、長期
S-3-33	想定	家庭用その他 (口数)	経済指標	-	-	T10-1で経済指標を選択した場合に利用した経済指標(GDP、IIP、人口など)	短期、長期
S-3-34	想定	家庭用その他 (口数)	相関式			想定の際の具体的な相関式	短期、長期
S-3-35	想定	家庭用その他 (口数)	相関式の係数定義			相関式の係数などの定義	短期、長期
S-3-36	想定	家庭用その他 (口数)	備考			想定についての補足など	短期、長期
S-3-37	想定	家庭用その他 (一口当たり人 口)	想定方法	-	-	年間電力量から負荷率等を用いた想定方法や、時系列傾向、経済指標との相関、個別需要家の積み上げ等需要想定の方法	短期、長期
S-3-38	想定	家庭用その他 (一口当たり人 口)	想定に使用した実績	-	-	想定に際し利用した実績の種類を選択(気象補正後、気象閏補正後、閏補正後、補正なし、その他)。 過去に本機関へ提出した実績以外を用いた場合には「その他」を選択し採用した理由と共に個別に任意様式で実績を報告すること。 なお、本機関が公表した人口実績を単純に報告済みの口数実績で除した場合にはその旨を備考に記載すること。	短期、長期
S-3-39	想定	家庭用その他 (一口当たり人 口)	実績観測期間(From)	年	0	想定に利用した実績の観測期間From	短期、長期
S-3-40	想定	家庭用その他 (一口当たり人 口)	実績観測期間(To)	年	0	想定に利用した実績の観測期間To	短期、長期
S-3-41	想定	家庭用その他 (一口当たり人 口)	決定係数		3	想定の実績係数	短期、長期
S-3-42	想定	家庭用その他 (一口当たり人 口)	経済指標	-	-	T10-1で経済指標を選択した場合に利用した経済指標(GDP、IIP、人口など)	短期、長期
S-3-43	想定	家庭用その他 (一口当たり人 口)	相関式			想定の際の具体的な相関式	短期、長期
S-3-44	想定	家庭用その他 (一口当たり人 口)	相関式の係数定義			相関式の係数などの定義	短期、長期
S-3-45	想定	家庭用その他 (一口当たり人 口)	備考			想定についての補足など	短期、長期

記載内容

様式No	S-3	想定手法について様式に記載が難しい場合には、該当する想定対象の備考欄にその旨記載した上で、個別に任意様式で報告すること。 また、特に、異常値の控除、想定手法を従来から変更した場合は、その旨を備考欄等に記載すること。
様式名	供給区域需要想定(想定手法)	

項目No	項目名			単位	小数点以下	内容	データ期間
S-3-46	想定	家庭用その他 (原単位)	想定方法	-	-	年間電力量から負荷率等を用いた想定方法や、時系列傾向、経済指標との相関、個別需要家の積み上げ等需要想定の方法	短期、長期
S-3-47	想定	家庭用その他 (原単位)	想定に使用した実績	-	-	想定に際し利用した実績の種類を選択(気象補正後,気象閏補正後,閏補正後,補正なし,その他)。 過去に本機関へ提出した実績以外を用いた場合には「その他」を選択し採用した理由と共に個別に任意様式で実績を報告すること。	短期、長期
S-3-48	想定	家庭用その他 (原単位)	実績観測期間(From)	年	0	想定に利用した実績の観測期間From	短期、長期
S-3-49	想定	家庭用その他 (原単位)	実績観測期間(To)	年	0	想定に利用した実績の観測期間To	短期、長期
S-3-50	想定	家庭用その他 (原単位)	決定係数		3	想定 の 決定係数	短期、長期
S-3-51	想定	家庭用その他 (原単位)	経済指標	-	-	T10-1で経済指標を選択した場合に利用した経済指標(GDP、IIP、人口など)	短期、長期
S-3-52	想定	家庭用その他 (原単位)	相関式			想定の際の具体的な相関式	短期、長期
S-3-53	想定	家庭用その他 (原単位)	相関式の係数定義			相関式の係数などの定義	短期、長期
S-3-54	想定	家庭用その他 (原単位)	備考			想定についての補足など	短期、長期
S-3-55	想定	業務用	想定方法	-	-	年間電力量から負荷率等を用いた想定方法や、時系列傾向、経済指標との相関、個別需要家の積み上げ等需要想定の方法	短期、長期
S-3-56	想定	業務用	想定に使用した実績	-	-	想定に際し利用した実績の種類を選択(気象補正後,気象閏補正後,閏補正後,補正なし,その他)。 過去に本機関へ提出した実績以外を用いた場合には「その他」を選択し採用した理由と共に個別に任意様式で実績を報告すること。	短期、長期
S-3-57	想定	業務用	実績観測期間(From)	年	0	想定に利用した実績の観測期間From	短期、長期
S-3-58	想定	業務用	実績観測期間(To)	年	0	想定に利用した実績の観測期間To	短期、長期
S-3-59	想定	業務用	決定係数		3	想定 の 決定係数	短期、長期
S-3-60	想定	業務用	経済指標	-	-	T10-1で経済指標を選択した場合に利用した経済指標(GDP、IIP、人口など)	短期、長期

記載内容

様式No	S-3	想定手法について様式に記載が難しい場合には、該当する想定対象の備考欄にその旨記載した上で、個別に任意様式で報告すること。 また、特に、異常値の控除、想定手法を従来から変更した場合は、その旨を備考欄等に記載すること。
様式名	供給区域需要想定(想定手法)	

項目No	項目名			単位	小数点以下	内容	データ期間
S-3-61	想定	業務用	相関式			想定の際の具体的な相関式	短期、長期
S-3-62	想定	業務用	相関式の係数定義			相関式の係数などの定義	短期、長期
S-3-63	想定	業務用	備考			想定についての補足など	短期、長期
S-3-64	想定	産業用その他	想定方法	-	-	年間電力量から負荷率等を用いた想定方法や、時系列傾向、経済指標との相関、個別需要家の積み上げ等需要想定の方法	短期、長期
S-3-65	想定	業務用	想定に使用した実績	-	-	想定に際し利用した実績の種類を選択(気象補正後、気象閏補正後、閏補正後、補正なし、その他)。過去に本機関へ提出した実績以外を用いた場合には「その他」を選択し採用した理由と共に個別に任意様式で実績を報告すること。	短期、長期
S-3-66	想定	産業用その他	実績観測期間(From)	年	0	想定に利用した実績の観測期間From	短期、長期
S-3-67	想定	産業用その他	実績観測期間(To)	年	0	想定に利用した実績の観測期間To	短期、長期
S-3-68	想定	産業用その他	決定係数		3	想定の実績決定係数	短期、長期
S-3-69	想定	産業用その他	経済指標	-	-	T10-1で経済指標を選択した場合に利用した経済指標(GDP、IIP、人口など)	短期、長期
S-3-70	想定	産業用その他	相関式			想定の際の具体的な相関式	短期、長期
S-3-71	想定	産業用その他	相関式の係数定義			相関式の係数などの定義	短期、長期
S-3-72	想定	産業用その他	備考			想定についての補足など	短期、長期
S-3-73	想定	最大需要電力(送電端)	想定方法	-	-	具体的な想定方法を記載	中間期
S-3-74	想定	最大需要電力(送電端)冬季	想定方法	-	-	具体的な想定方法を記載 最大需要電力(送電端)冬季(供給区域指定月時の内冬季)がある場合のみ。該当がなければハイフン。	中間期
S-3-75	想定	負荷率	想定方法	-	-	具体的な想定方法を記載 年(もしくは月、日)負荷率を想定した場合のみ。該当がなければハイフン。 年、月、日負荷率の何れを想定したかを記載。	中間期

記載内容

様式No	S-3	想定手法について様式に記載が難しい場合には、該当する想定対象の備考欄にその旨記載した上で、個別に任意様式で報告すること。 また、特に、異常値の控除、想定手法を従来から変更した場合は、その旨を備考欄等に記載すること。
様式名	供給区域需要想定(想定手法)	

項目No	項目名			単位	小数点以下	内容	データ期間
S-3-76	想定	家庭用その他	想定方法	-	-	具体的な想定方法を記載	中間期
S-3-77	想定	業務用	想定方法	-	-	具体的な想定方法を記載	中間期
S-3-78	想定	産業用その他	想定方法	-	-	具体的な想定方法を記載	中間期
S-3-79	想定	家庭用その他 (口数)	想定方法	-	-	具体的な想定方法を記載 中間期も想定していれば記載するが該当がなければハイフン。	中間期
S-3-80	想定	家庭用その他 (一口当たり人口)	想定方法	-	-	具体的な想定方法を記載 中間期も想定していれば記載するが該当がなければハイフン。	中間期
S-3-81	想定	家庭用その他 (原単位)	想定方法	-	-	具体的な想定方法を記載 中間期も想定していれば記載するが該当がなければハイフン。	中間期
S-3-82	想定	最大需要電力 (送電端)	想定方法	-	-	具体的な想定方法を記載	N年度各月
S-3-83	想定	家庭用その他	想定方法	-	-	具体的な想定方法を記載	N年度各月
S-3-84	想定	業務用	想定方法	-	-	具体的な想定方法を記載	N年度各月
S-3-85	想定	産業用その他	想定方法	-	-	具体的な想定方法を記載	N年度各月
S-3-86	想定	最大需要電力 (送電端)	想定方法	-	-	具体的な想定方法を記載	N+1年度 各月
S-3-87							

記載内容

様式No	J-1-1
様式名	供給区域需要実績(4～9月)

項目No	項目名			単位	小数点以下	内容	データ期間
J-1-1-1	実績	気象補正後	最大需要電力(送電端)	MW	0	最大需要電力(送電端)各月の実績値の気象補正後	N-1年度4～9月 各月
J-1-1-2	実績	気象補正後	月負荷率	%	1	需要電力量各月合計(送電端)合計実績値(気象補正後)/最大需要電力(送電端)各月想定の実績値(気象補正後)/(各月の日数×24時間)で算出する	N-1年度4～9月 各月
J-1-1-3	実績	気象補正後	需要電力量合計(送電端)	GWh	0	需要電力量合計(送電端)の実績値の気象補正後	N-1年度4～9月 各月
J-1-1-4	実績	気象補正後	需要電力量合計(需要端)	GWh	0	需要電力量合計(需要端)の実績値の気象補正後	N-1年度4～9月 各月
J-1-1-5	実績	気象補正後	変電所所内用電力量	GWh	0	変電所所内用電力量の実績値の気象補正後	N-1年度4～9月 各月
J-1-1-6	実績	気象補正後	需要電力量合計(使用端)	GWh	0	需要電力量家庭用その他、業務用、産業用その他実績値(気象補正後)の合計	N-1年度4～9月 各月
J-1-1-7	実績	気象補正後	需要電力量家庭用その他	GWh	0	需要電力量家庭用その他の実績値(気象補正後)	N-1年度4～9月 各月
J-1-1-8	実績	気象補正後	需要電力量業務用	GWh	0	需要電力量業務用の実績値(気象補正後)	N-1年度4～9月 各月
J-1-1-9	実績	気象補正後	需要電力量産業用その他	GWh	0	需要電力量産業用その他の実績値(気象補正後)	N-1年度4～9月 各月
J-1-1-10	実績	気象補正後	原単位(家庭用その他)	kWh/口	0	原単位(家庭用その他)の実績値(気象補正後)	N-1年度4～9月 各月
J-1-1-11	実績	補正なし	最大需要電力(送電端)	MW	0	最大需要電力(送電端)各月の実績値	N-1年度4～9月 各月
J-1-1-12	実績	補正なし	月負荷率	%	1	需要電力量各月合計(送電端)合計実績値/最大需要電力(送電端)各月想定の実績値/(各月の日数×24時間)で算出する	N-1年度4～9月 各月
J-1-1-13	実績	補正なし	需要電力量合計(送電端)	GWh	0	需要電力量合計(送電端)の実績値	N-1年度4～9月 各月
J-1-1-14	実績	補正なし	需要電力量合計(需要端)	GWh	0	需要電力量合計(需要端)の実績値	N-1年度4～9月 各月
J-1-1-15	実績	補正なし	変電所所内用電力量	GWh	0	変電所所内用電力量の実績値	N-1年度4～9月 各月
J-1-1-16	実績	補正なし	需要電力量合計(使用端)	GWh	0	需要電力量家庭用その他、業務用、産業用その他実績値の合計	N-1年度4～9月 各月
J-1-1-17	実績	補正なし	需要電力量家庭用その他	GWh	0	需要電力量家庭用その他の実績値	N-1年度4～9月 各月

記載内容

様式No	J-1-1
様式名	供給区域需要実績(4～9月)

項目No	項目名			単位	小数点以下	内容	データ期間
J-1-1-18	実績	補正なし	需要電力量業務用	GWh	0	需要電力量業務用の実績値	N-1年度4～9月 各月
J-1-1-19	実績	補正なし	需要電力量産業用その他	GWh	0	需要電力量産業用その他の実績値	N-1年度4～9月 各月
J-1-1-20	実績	補正なし	原単位(家庭用その他)	kWh/口	0	原単位(家庭用その他)の実績値(月末口数で算定)	N-1年度4～9月 各月
J-1-1-21	実績	その他	口数(家庭用その他)	千口	0	口数(年間延契約口数/12)の基になる月末口数の実績	N-1年度4～9月 各月
J-1-1-22			備考	-	-	補足等があれば必要に応じ記載	-
J-1-1-23							
J-1-1-24							
J-1-1-25							
J-1-1-26							

記載内容

様式No	J-1-2
様式名	供給区域需要実績(10～3月及び年間合計)

項目No	項目名			単位	小数点以下	内容	データ期間
J-1-2-1	実績	気象補正後	最大需要電力(送電端)	MW	0	最大需要電力(送電端)各月の実績値の気象補正後。 年間の欄には、12か月間の最大となった月の値を記載すること。なお、年間最大電力が端数処理等の関係で複数の月で同一の値となった場合には、備考欄に年間最大の月を記載すること。	N-1年度10～3月 各月及び年間合計
J-1-2-2	実績	気象補正後	月負荷率	%	1	需要電力量各月合計(送電端)合計実績値(気象補正後)/最大需要電力(送電端)各月想定の実績値(気象補正後)/(各月の日数×24時間)で算出する	N-1年度10～3月 各月及び年間合計
J-1-2-3	実績	気象補正後	需要電力量合計(送電端)	GWh	0	需要電力量合計(送電端)の実績値の気象補正後	N-1年度10～3月 各月及び年間合計
J-1-2-4	実績	気象補正後	送配電損失率	%	1	(需要電力量合計(需要端)の実績値-需要電力量合計(送電端)の実績値(気象補正後)/需要電力量合計(送電端)の実績値(気象補正後)	年間合計
J-1-2-5	実績	気象補正後	需要電力量合計(需要端)	GWh	0	需要電力量合計(需要端)の実績値の気象補正後	N-1年度10～3月 各月及び年間合計
J-1-2-6	実績	気象補正後	変電所所内用電力量	GWh	0	変電所所内用電力量の実績値の気象補正後	N-1年度10～3月 各月及び年間合計
J-1-2-7	実績	気象補正後	需要電力量合計(使用端)	GWh	0	需要電力量家庭用その他、業務用、産業用その他実績値(気象補正後)の合計	N-1年度10～3月 各月及び年間合計
J-1-2-8	実績	気象補正後	需要電力量家庭用その他	GWh	0	需要電力量家庭用その他の実績値(気象補正後)	N-1年度10～3月 各月及び年間合計
J-1-2-9	実績	気象補正後	需要電力量業務用	GWh	0	需要電力量業務用の実績値(気象補正後)	N-1年度10～3月 各月及び年間合計
J-1-2-10	実績	気象補正後	需要電力量産業用その他	GWh	0	需要電力量産業用その他の実績値(気象補正後)	N-1年度10～3月 各月及び年間合計
J-1-2-11	実績	気象補正後	原単位(家庭用その他)	kWh/口	0	原単位(家庭用その他)の実績値(気象補正後)	N-1年度10～3月 各月及び年間合計
J-1-2-12	実績	補正なし	最大需要電力(送電端)	MW	0	最大需要電力(送電端)各月の実績値 年間の欄には、12か月間の最大となった月の値を記載すること。なお、年間最大電力が端数処理等の関係で複数の月で同一の値となった場合には、備考欄に年間最大の月を記載すること。	N-1年度10～3月 各月及び年間合計
J-1-2-13	実績	補正なし	月負荷率	%	1	需要電力量各月合計(送電端)合計実績値/最大需要電力(送電端)各月想定の実績値/(各月の日数×24時間)で算出する	N-1年度10～3月 各月及び年間合計
J-1-2-14	実績	補正なし	需要電力量合計(送電端)	GWh	0	需要電力量合計(送電端)の実績値	N-1年度10～3月 各月及び年間合計
J-1-2-15	実績	補正なし	送配電損失率	%	1	(需要電力量合計(需要端)の実績値-需要電力量合計(送電端)の実績値/需要電力量合計(送電端)の実績値	年間合計
J-1-2-16	実績	補正なし	需要電力量合計(需要端)	GWh	0	需要電力量合計(需要端)の実績値	N-1年度10～3月 各月及び年間合計
J-1-2-17	実績	補正なし	変電所所内用電力量	GWh	0	変電所所内用電力量の実績値	N-1年度10～3月 各月及び年間合計

記載内容

様式No	J-1-2
様式名	供給区域需要実績(10～3月及び年間合計)

項目No	項目名			単位	小数点以下	内容	データ期間
J-1-2-18	実績	補正なし	需要電力量合計(使用端)	GWh	0	需要電力量家庭用その他、業務用、産業用その他実績値の合計	N-1年度10～3月 各月及び年間合計
J-1-2-19	実績	補正なし	需要電力量家庭用その他	GWh	0	需要電力量家庭用その他の実績値	N-1年度10～3月 各月及び年間合計
J-1-2-20	実績	補正なし	需要電力量業務用	GWh	0	需要電力量業務用の実績値	N-1年度10～3月 各月及び年間合計
J-1-2-21	実績	補正なし	需要電力量産業用その他	GWh	0	需要電力量産業用その他の実績値	N-1年度10～3月 各月及び年間合計
J-1-2-22	実績	補正なし	原単位(家庭用その他)	kWh/口	0	原単位(家庭用その他)の実績値(月末口数で算定)	N-1年度10～3月 各月及び年間合計
J-1-2-23	実績	その他	口数(家庭用その他)	千口	0	口数(年間延契約口数/12)の基になる月末口数の実績	N-1年度10～3月 各月及び年間合計
J-1-2-24	実績	気象閏補正後	需要電力量合計(送電端)	GWh	0	需要電力量合計(送電端)の実績値の気象補正後	年間合計
J-1-2-25	実績	気象閏補正後	送配電損失率	%	1	(需要電力量合計(需要端)の実績値-需要電力量合計(送電端)の実績値(気象補正後))/需要電力量合計(送電端)の実績値(気象補正後)	年間合計
J-1-2-26	実績	気象閏補正後	需要電力量合計(需要端)	GWh	0	需要電力量合計(需要端)の実績値の気象補正後	年間合計
J-1-2-27	実績	気象閏補正後	変電所所内用電力量	GWh	0	変電所所内用電力量の実績値の気象補正後	年間合計
J-1-2-28	実績	気象閏補正後	需要電力量合計(使用端)	GWh	0	需要電力量家庭用その他、業務用、産業用その他実績値(気象補正後)の合計	年間合計
J-1-2-29	実績	気象閏補正後	需要電力量家庭用その他	GWh	0	需要電力量家庭用その他の実績値(気象補正後)	年間合計
J-1-2-30	実績	気象閏補正後	需要電力量業務用	GWh	0	需要電力量業務用の実績値(気象補正後)	年間合計
J-1-2-31	実績	気象閏補正後	需要電力量産業用その他	GWh	0	需要電力量産業用その他の実績値(気象補正後)	年間合計
J-1-2-32	実績	気象閏補正後	原単位(家庭用その他)	kWh/口	0	原単位(家庭用その他)の実績値(気象補正後)	年間合計
J-1-2-33			備考	-	-	補足等があれば必要に応じ記載。	-

記載内容

様式No	J-2-1-1
様式名	供給区域需要実績(気温変動量)(4～9月)

項目No	項目名			単位	小数点以下	内容	データ期間
J-2-1-1-1	実績	上中下旬、月平均	平均気温(実績)	℃	1	平均気温の上旬、中旬、下旬、月平均の実績値	N-1年度4～9月 各月
J-2-1-1-2	実績	上中下旬、月平均	平均気温(平年)	℃	1	平均気温の上旬、中旬、下旬、月平均の平年値	N-1年度4～9月 各月
J-2-1-1-3	実績	上中下旬、月平均	平均気温差	℃	1	実績値-平年値	N-1年度4～9月 各月
J-2-1-1-4	実績	上中下旬、月平均	実績平均気温累計	℃	1	平均気温の上旬、中旬、下旬、月平均の実績値の累計	N-1年度4～9月 各月
J-2-1-1-5	実績	上中下旬、月平均	平年平均気温累計	℃	1	平均気温の上旬、中旬、下旬、月平均の平年値の累計	N-1年度4～9月 各月
J-2-1-1-6	実績	上中下旬、月平均	対象累計温度差	℃	1	実績平均気温累計-平年平均気温累計 ただし、足きり温度以上(冬季の場合は以下)となる日を対象とする。	N-1年度4～9月 各月
J-2-1-1-7	実績	上中下旬、月平均	気温補正要否判定		-	1:気温補正要、0:気温補正不要	N-1年度4～9月 各月
J-2-1-1-8	実績	月間	送電端電力量気温感応度	GWh/℃	1	1℃あたり気温補正量	N-1年度4～9月 各月
J-2-1-1-9	実績	上中下旬、月平均	気温補正量(送電端)	GWh	0	気温補正量(送電端合計)	N-1年度4～9月 各月
J-2-1-1-10	実績	上中下旬、月平均	送電端電力量気温感応度算出式		-	1℃あたり気温補正量算出式	N-1年度4～9月 各月
J-2-1-1-11	実績	上中下旬、月平均	平均気温算出方法(算出地点等)		-	気温補正を行う気温の考え方など	N-1年度4～9月 各月
J-2-1-1-12							
J-2-1-1-13							

記載内容

様式No	J-2-1-2
様式名	供給区域需要実績(気温変動量用途別)(4～9月)

項目No	項目名			単位	小数点以下	内容	データ期間
J-2-1-2-1	実績	気温変動量	送電端合計	GWh	0	気温変動量(送電端合計)暦月ベースのもので、様式J-2-1-1の「気温変動量(送電端合計)」の各月合計量	N-1年度4～9月 各月
J-2-1-2-2	実績	気温変動量	送配電損失率	%	1	変動を算出するにあたって使用した送配電損失率。発電端電力量及び送電端電力量の組み合わせ、二次端電力量により算定する場合は、総合損失率もしくは配電損失率を使用し、その旨備考に明記。	N-1年度4～9月 各月
J-2-1-2-3	実績	気温変動量	使用端暦月合計	GWh	0	気温変動量(使用端暦月合計)	N-1年度4～9月 各月
J-2-1-2-4	実績	気温変動量	使用端暦月合計家庭用その他	GWh	0	気温変動量(使用端暦月合計)家庭用その他	N-1年度4～9月 各月
J-2-1-2-5	実績	気温変動量	使用端暦月合計業務用	GWh	0	気温変動量(使用端暦月合計)業務用	N-1年度4～9月 各月
J-2-1-2-6	実績	気温変動量	使用端暦月合計産業用その他	GWh	0	気温変動量(使用端暦月合計)	N-1年度4～9月 各月
J-2-1-2-7	実績	気温変動量	暦月調定月変換量	GWh	0	気温変動量暦月調定月変換量(暦月変動量の内調定月分を記載) 暦月ベースの用途別使用端気温変動量の内翌調定月へ変換する際に控除した量	N-1年度4～9月 各月
J-2-1-2-8	実績	気温変動量	暦月調定月変換率	%	1	気温変動量暦月調定月変換率	N-1年度4～9月 各月
J-2-1-2-9	実績	気温変動量	使用端調定月合計	GWh	0	気温変動量(使用端調定月合計)	N-1年度4～9月 各月
J-2-1-2-10	実績	気温変動量	使用端調定月合計家庭用その他	GWh	0	気温変動量(使用端調定月合計)家庭用その他	N-1年度4～9月 各月
J-2-1-2-11	実績	気温変動量	使用端調定月合計業務用	GWh	0	気温変動量(使用端調定月合計)業務用	N-1年度4～9月 各月
J-2-1-2-12	実績	気温変動量	使用端調定月合計産業用その他	GWh	0	気温変動量(使用端調定月合計)	N-1年度4～9月 各月
J-2-1-2-13							

記載内容

様式No	J-2-2-1
様式名	供給区域需要実績(気温変動量)(10～3月)

項目No	項目名			単位	小数点以下	内容	データ期間
J-2-2-1-1	実績	上中下旬、月平均	平均気温(実績)	℃	1	平均気温の上旬、中旬、下旬、月平均の実績値	N-1年度10～3月各月
J-2-2-1-2	実績	上中下旬、月平均	平均気温(平年)	℃	1	平均気温の上旬、中旬、下旬、月平均の平年値	N-1年度10～3月各月
J-2-2-1-3	実績	上中下旬、月平均	平均気温差	℃	1	実績値-平年値	N-1年度10～3月各月
J-2-2-1-4	実績	上中下旬、月平均	実績平均気温累計	℃	1	平均気温の上旬、中旬、下旬、月平均の実績値の累計	N-1年度10～3月各月
J-2-2-1-5	実績	上中下旬、月平均	平年平均気温累計	℃	1	平均気温の上旬、中旬、下旬、月平均の平年値の累計	N-1年度10～3月各月
J-2-2-1-6	実績	上中下旬、月平均	対象累計温度差	℃	1	実績平均気温累計-平年平均気温累計 ただし、足きり温度以上(冬季の場合は以下)となる日を対象とする。	N-1年度10～3月各月
J-2-2-1-7	実績	上中下旬、月平均	気温補正要否判定		-	1:気温補正要、0:気温補正不要	N-1年度10～3月各月
J-2-2-1-8	実績	月間	送電端電力量気温感応度	GWh/℃	1	1℃あたり気温補正量	N-1年度10～3月各月
J-2-2-1-9	実績	上中下旬、月平均	気温補正量(送電端)	GWh	0	気温補正量(送電端合計)	N-1年度10～3月各月
J-2-2-1-10	実績	上中下旬、月平均	送電端電力量気温感応度算出式		-	1℃あたり気温補正量算出式	N-1年度10～3月各月
J-2-2-1-11	実績	上中下旬、月平均	平均気温算出方法(算出地点等)		-	気温補正を行う気温の考え方など	N-1年度10～3月各月
J-2-2-1-12							
J-2-2-1-13							

記載内容

様式No	J-2-2-2
様式名	供給区域需要実績(気温変動量用途別)(10～3月)

項目No	項目名			単位	小数点以下	内容	データ期間
J-2-2-2-1	実績	気温変動量	送電端合計	GWh	0	気温変動量(送電端合計)暦月ベースのもので、様式J-2-1-1の「気温変動量(送電端合計)」の各月合計量	N-1年度10～3月 各月
J-2-2-2-2	実績	気温変動量	送配電損失率	%	1	変動を算出するにあたって使用した送配電損失率。発電端電力量及び送電端電力量の組み合わせ、二次端電力量により算定する場合は、総合損失率もしくは配電損失率を使用し、その旨備考に明記。	N-1年度10～3月 各月
J-2-2-2-3	実績	気温変動量	使用端暦月合計	GWh	0	気温変動量(使用端暦月合計)	N-1年度10～3月 各月
J-2-2-2-4	実績	気温変動量	使用端暦月合計家庭用その他	GWh	0	気温変動量(使用端暦月合計)家庭用その他	N-1年度10～3月 各月
J-2-2-2-5	実績	気温変動量	使用端暦月合計業務用	GWh	0	気温変動量(使用端暦月合計)業務用	N-1年度10～3月 各月
J-2-2-2-6	実績	気温変動量	使用端暦月合計産業用その他	GWh	0	気温変動量(使用端暦月合計)	N-1年度10～3月 各月
J-2-2-2-7	実績	気温変動量	暦月調定月変換量	GWh	0	気温変動量暦月調定月変換量(暦月変動量の内調定月分を記載) 暦月ベースの用途別使用端気温変動量の内翌調定月へ変換する際に控除した量	N-1年度10～3月 各月
J-2-2-2-8	実績	気温変動量	暦月調定月変換率	%	1	気温変動量暦月調定月変換率	N-1年度10～3月 各月
J-2-2-2-9	実績	気温変動量	使用端調定月合計	GWh	0	気温変動量(使用端調定月合計)	N-1年度10～3月 各月
J-2-2-2-10	実績	気温変動量	使用端調定月合計家庭用その他	GWh	0	気温変動量(使用端調定月合計)家庭用その他	N-1年度10～3月 各月
J-2-2-2-11	実績	気温変動量	使用端調定月合計業務用	GWh	0	気温変動量(使用端調定月合計)業務用	N-1年度10～3月 各月
J-2-2-2-12	実績	気温変動量	使用端調定月合計産業用その他	GWh	0	気温変動量(使用端調定月合計)産業用その他	N-1年度10～3月 各月
J-2-2-2-13							

記載内容

様式No	J-3-1
様式名	最大需要電力実績(4～9月)

項目No	項目名			単位	小数点以下	内容	データ期間
J-3-1-1	実績	各日最大需要電力の 各月上位1位	日	日	0	各月最大需要電力上位1位が発生した日	N-1年度4～9月 各月
J-3-1-2	実績	各日最大需要電力の 各月上位1位	時間	時間	0	各月最大需要電力上位1位が発生した時間	N-1年度4～9月 各月
J-3-1-3	実績	各日最大需要電力の 各月上位1位	最大需要電力	MW	0	各月最大需要電力上位1位	N-1年度4～9月 各月
J-3-1-4	実績	各日最大需要電力の 各月上位2位	日	日	0	各月最大需要電力上位2位が発生した日	N-1年度4～9月 各月
J-3-1-5	実績	各日最大需要電力の 各月上位2位	時間	時間	0	各月最大需要電力上位2位が発生した時間	N-1年度4～9月 各月
J-3-1-6	実績	各日最大需要電力の 各月上位2位	最大需要電力	MW	0	各月最大需要電力上位2位	N-1年度4～9月 各月
J-3-1-7	実績	各日最大需要電力の 各月上位3位	日	日	0	各月最大需要電力上位3位が発生した日	N-1年度4～9月 各月
J-3-1-8	実績	各日最大需要電力の 各月上位3位	時間	時間	0	各月最大需要電力上位3位が発生した時間	N-1年度4～9月 各月
J-3-1-9	実績	各日最大需要電力の 各月上位3位	最大需要電力	MW	0	各月最大需要電力上位3位	N-1年度4～9月 各月
J-3-1-10	実績	気象補正	補正指標			最大3日平均需要電力の気象補正に利用した指標 気象補正を行った対象月のみ記載。	N-1年度4～9月 各月
J-3-1-11	実績	気象補正	指標実績			最大3日平均需要電力の気象補正に利用した指標の実績値 気象補正を行った対象月のみ記載。	N-1年度4～9月 各月
J-3-1-12	実績	気象補正	基準指標			最大3日平均需要電力の気象補正に利用した指標の基準値 気象補正を行った対象月のみ記載。	N-1年度4～9月 各月
J-3-1-13	実績	気象補正	実績と基準の差			最大3日平均需要電力の指標実績-基準指標 気象補正を行った対象月のみ記載。	N-1年度4～9月 各月
J-3-1-14	実績	気象補正	気象感応度			最大3日平均需要電力の気象感応度 気象補正を行った対象月のみ記載。	N-1年度4～9月 各月
J-3-1-15	実績	気象補正	感応度算出方法			最大3日平均需要電力の感応度算出方法 気象補正を行った対象月のみ記載。	N-1年度4～9月 各月
J-3-1-16	実績	気象補正	基準指標算出の考え方			最大3日平均需要電力の基準指標算出の考え方等 気象補正を行った対象月のみ記載。	N-1年度4～9月 各月
J-3-1-17							
J-3-1-18							

記載内容

様式No	J-3-2
様式名	最大需要電力実績(10～3月)

項目No	項目名			単位	小数点以下	内容	データ期間
J-3-2-1	実績	各日最大需要電力の 各月上位1位	日	日	0	各月最大需要電力上位1位が発生した日	N-1年度10～3月 各月
J-3-2-2	実績	各日最大需要電力の 各月上位1位	時間	時間	0	各月最大需要電力上位1位が発生した時間	N-1年度10～3月 各月
J-3-2-3	実績	各日最大需要電力の 各月上位1位	最大需要電力	MW	0	各月最大需要電力上位1位	N-1年度10～3月 各月
J-3-2-4	実績	各日最大需要電力の 各月上位2位	実績平均気象累計	日	0	各月最大需要電力上位2位が発生した日	N-1年度10～3月 各月
J-3-2-5	実績	各日最大需要電力の 各月上位2位	平年平均気象累計	時間	0	各月最大需要電力上位2位が発生した時間	N-1年度10～3月 各月
J-3-2-6	実績	各日最大需要電力の 各月上位2位	対象累計温度差	MW	0	各月最大需要電力上位2位	N-1年度10～3月 各月
J-3-2-7	実績	各日最大需要電力の 各月上位3位	気象補正要否判定	日	0	各月最大需要電力上位3位が発生した日	N-1年度10～3月 各月
J-3-2-8	実績	各日最大需要電力の 各月上位3位	1℃あたり気象補正量	時間	0	各月最大需要電力上位3位が発生した時間	N-1年度10～3月 各月
J-3-2-9	実績	各日最大需要電力の 各月上位3位	気象補正量算出式	MW	0	各月最大需要電力上位3位	N-1年度10～3月 各月
J-3-2-10	実績	気象補正	補正指標			最大3日平均需要電力の気象補正に利用した指標 気象補正を行った対象月のみ記載。	N-1年度10～3月 各月
J-3-2-11	実績	気象補正	指標実績			最大3日平均需要電力の気象補正に利用した指標の実績値 気象補正を行った対象月のみ記載。	N-1年度10～3月 各月
J-3-2-12	実績	気象補正	基準指標			最大3日平均需要電力の気象補正に利用した指標の基準値 気象補正を行った対象月のみ記載。	N-1年度10～3月 各月
J-3-2-13	実績	気象補正	実績と基準の差			最大3日平均需要電力の指標実績-基準指標 気象補正を行った対象月のみ記載。	N-1年度10～3月 各月
J-3-2-14	実績	気象補正	気象感応度			最大3日平均需要電力の気象感応度 気象補正を行った対象月のみ記載。	N-1年度10～3月 各月
J-3-2-15	実績	気象補正	感応度算出方法			最大3日平均需要電力の感応度算出方法 気象補正を行った対象月のみ記載。	N-1年度10～3月 各月
J-3-2-16	実績	気象補正	基準指標算出の考え方			最大3日平均需要電力の基準指標算出の考え方等 気象補正を行った対象月のみ記載。	N-1年度10～3月 各月
J-3-2-17							
J-3-2-18							

記載内容

様式No	J-4	全国最大月及び時供給区域の最大月のみ記載すること
様式名	最大需要電力(夏季・冬季・ベース)	

項目No	項目名			単位	小数点以下	内容	データ期間
J-4-1	実績	補正なし	夏季・冬季需要	MW	0	各月最大需要電力からベース需要(J-4-5)を控除したもの	N-1年度4～3月 各月
J-4-2	実績	気象補正	夏季・冬季需要	MW	0	各月最大需要電力(気象補正後)からベース需要(J-4-5)を控除したもの	N-1年度4～3月 各月
J-4-3	実績	補正なし	ベース需要	MW	0	端境月の需要を直線で結んだベースとなる需要	N-1年度4～3月 各月
J-4-4	-	-	ベース需要の算出方法	-	-	具体的な端境月と算出方法を記載	N-1年度
J-4-5							

記載内容

様式No	K-1
様式名	最大需要電力乖離検証(夏季)

項目No	項目名			単位	小数点以下	内容	データ期間
K-1-1	検証	最大需要電力 (夏季)	検証対象月	月	0	検証対象月/夏季(7～9月)における各月最大需要電力が最も高かった月	N-1年度
K-1-2	検証	最大需要電力 (夏季)	想定値	MW	0	検証対象月の最新の供給計画における最大需要電力(送電端)の想定 過去に提出済の場合においても、K-1-4の実績と基準の差を算出するために、記載すること。	N-1年度
K-1-3	検証	最大需要電力 (夏季)	実績値	MW	0	検証対象月の最大需要電力(送電端)の実績 過去に提出済の場合においても、K-1-4の実績と基準の差を算出するために、記載すること。	N-1年度
K-1-4	検証	最大需要電力 (夏季)	実績と基準の差	MW	0	実績値—基準値	N-1年度
K-1-5	検証	最大需要電力 (夏季)	差異要因			具体的な差異要因(気象影響は必須)	N-1年度
K-1-6	検証	最大需要電力 (夏季)	影響量	MW	0	差異要因ごとの影響量	N-1年度
K-1-7	検証	最大需要電力 (夏季)	影響量算出方法			差異要因ごとの影響量算出方法	N-1年度
K-1-8							
K-1-9							

記載内容

様式No	K-2
様式名	最大需要電力乖離検証(冬季)

項目No	項目名			単位	小数点以下	内容	データ期間
K-2-1	検証	最大需要電力 (冬季)	検証対象月	月	0	検証対象月/冬季(12～2月)における各月最大需要電力が最も高かった月	N-1年度
K-2-2	検証	最大需要電力 (冬季)	想定値	MW	0	検証対象月の最新の供給計画における最大需要電力(送電端)の想定 過去に提出済の場合においても、K-1-4の実績と基準の差を算出するために、記載すること。	N-1年度
K-2-3	検証	最大需要電力 (冬季)	実績値	MW	0	検証対象月の最大需要電力(送電端)の実績 過去に提出済の場合においても、K-1-4の実績と基準の差を算出するために、記載すること。	N-1年度
K-2-4	検証	最大需要電力 (冬季)	実績と基準の差	MW	0	実績値—基準値	N-1年度
K-2-5	検証	最大需要電力 (冬季)	差異要因			具体的な差異要因(気象影響は必須)	N-1年度
K-2-6	検証	最大需要電力 (冬季)	影響量	MW	0	差異要因ごとの影響量	N-1年度
K-2-7	検証	最大需要電力 (冬季)	影響量算出方法			差異要因ごとの影響量算出方法	N-1年度
K-2-8							
K-2-9							

記載内容

様式No	K-3
様式名	使用端電力量乖離検証

必要に応じ、月毎、期間ごとの欄を追加修正の上記載すること。

想定値及び実績値について過去に提出済の場合においても、K-1-4の想定と実績の差を算出するために、記載すること。

項目No	項目名			単位	小数点以下	内容	データ期間
K-3-1	検証	電力量	想定値(エリア計)	GWh	0	当該年度の供給計画における使用端電力量のエリア合計値の想定値	N-1年度各月
K-3-2	検証	電力量	想定値(家庭用その他)	GWh	0	当該年度の供給計画における使用端電力量の家庭用その他の想定値	N-1年度各月
K-3-3	検証	電力量	想定値(業務用)	GWh	0	当該年度の供給計画における使用端電力量の業務用の想定値	N-1年度各月
K-3-4	検証	電力量	想定値(産業用その他)	GWh	0	当該年度の供給計画における使用端電力量の産業用その他の想定値	N-1年度各月
K-3-5	検証	電力量	実績値(エリア計)	GWh	0	当該年度の供給計画における使用端電力量のエリア合計値の実績値	N-1年度各月
K-3-6	検証	電力量	実績値(家庭用その他)	GWh	0	当該年度の供給計画における使用端電力量の家庭用その他の実績値	N-1年度各月
K-3-7	検証	電力量	実績値(業務用)	GWh	0	当該年度の供給計画における使用端電力量の業務用の実績値	N-1年度各月
K-3-8	検証	電力量	実績値(産業用その他)	GWh	0	当該年度の供給計画における使用端電力量の産業用その他の実績値	N-1年度各月
K-3-9	検証	電力量	実績値(エリア計)	GWh	0	当該年度の供給計画における使用端電力量のエリア合計値の実績値-想定値	N-1年度各月
K-3-10	検証	電力量	実績値(家庭用その他)	GWh	0	当該年度の供給計画における使用端電力量の家庭用その他の実績値-想定値	N-1年度各月
K-3-11	検証	電力量	実績値(業務用)	GWh	0	当該年度の供給計画における使用端電力量の業務用の実績値-想定値	N-1年度各月
K-3-12	検証	電力量	実績値(産業用その他)	GWh	0	当該年度の供給計画における使用端電力量の産業用その他の実績値-想定値	N-1年度各月
K-3-13	検証	差異要因	実績値(エリア計)	GWh	0	当該年度の供給計画における使用端電力量のエリア合計値の差異要因ごとの影響量	N-1年度各月
K-3-14	検証	差異要因	実績値(家庭用その他)	GWh	0	当該年度の供給計画における使用端電力量の家庭用その他の差異要因ごとの影響量	N-1年度各月
K-3-15	検証	差異要因	実績値(業務用)	GWh	0	当該年度の供給計画における使用端電力量の業務用の差異要因ごとの影響量	N-1年度各月
K-3-16	検証	差異要因	実績値(産業用その他)	GWh	0	当該年度の供給計画における使用端電力量の産業用その他の差異要因ごとの影響量	N-1年度各月
K-3-17	検証	差異要因	影響量算出方法(エリア計)	-	-	差異要因のエリア計の算出方法	N-1年度各月

記載内容

様式No	K-3	必要に応じ、月毎、期間ごとの欄を追加修正の上記載すること。 想定値及び実績値について過去に提出済の場合においても、K-1-4の想定と実績の差を算出するために、記載すること。
様式名	使用端電力量乖離検証	

項目No	項目名			単位	小数点以下	内容	データ期間
K-3-18	検証	差異要因	影響量算出方法(家庭用その他)	-	-	差異要因の家庭用その他の算出方法	N-1年度各月
K-3-19	検証	差異要因	影響量算出方法(業務用)	-	-	差異要因の業務用の算出方法	N-1年度各月
K-3-20	検証	差異要因	影響量算出方法(産業用その他)	-	-	差異要因の産業用その他の算出方法	N-1年度各月
K-3-21							
K-3-22							